

広報ほろきは令和5年5月号から穴あけを廃止しています。  
穴あけをつくる際には、「●」マーク、「▼」マークを自印に  
パンチなどで穴を開けていただきますようお願いいたします。



2・3階展示室  
植田正治  
山陰の風土に生きて

2024年9月14日(土) - 12月9日(月)

多くの人々にとって植田正治のイメージは「砂丘」でしょうか。不思議な空間、オブジェのような配置、スタイリッシュな構図など。しかしながら、これらのイメージとは別に、植田の写真のベースは、やはり「山陰」です。

1930年代から70年代のはじめまで、植田はほとんどの写真を「山陰」という限られたエリアで撮影しています。ただし、単に「山陰」を愛し、その美しさに魅かれたという写真ではありません。写真をはじめた1930年代、植田は海外の前衛写真に影響され、写真表現の無限の可能性を意識します。戦争前後の演出写真と呼ばれる植田独自のスタイルが評価されながらも、1950年代から演出写真を離れ、あらたな表現の道を探ります。もちろん「砂丘」も「山陰」を特徴づける重要なアイテムですが、もっと身近で日常的な「山陰」が植田の写真のベースとなっています。人々の平凡な暮らし、無邪気な子ども、四季の自然、さまざまな祭りや行事、当然ながら植田はファインダーをのぞきながら、「山陰の風土」の中に容易に入り込み、溶け込みながらシャッターを切ったのです。

今回の展示会は、「山陰の風土」をテーマに植田の初期から1970年代までの作品を中心に紹介します。一見、スタイリッシュな写真とは真逆に思える写真ばかりですが、地元にこだわり続け、さまざまな手法でとらえた「山陰」を紹介しながら、その「まなざし」をあらためて浮き彫りにします。



小狐登場 1948年

1階D展示室 写真展のお知らせ

入館料：無料 ただし 1・2階展示室の観覧は有料

- ★美術館友の会写真展 9月18日(水)～9月30日(月)
- ★サークルスイング写真展 10月2日(水)～10月7日(月)
- ★ペンタックスリコーファミリークラブ写真展 10月9日(水)～10月21日(月)
- ★第33回鳥取県高文連写真部写真展 10月23日(水)～10月28日(月)
- ★サークルU写真展 10月30日(水)～11月4日(月・祝)
- ★第25回植田正治写真美術館フォトコンテスト入賞・入選作品展示
- ★第31回伯耆町写真展 11月6日(水)～12月9日(月)

第31回 伯耆町写真展作品募集

- 対象者 伯耆町在住者、町内勤務者
- テーマ 自由
- 作品サイズ モノクロ、カラーともにA4サイズ
- 申込期限 10月16日(水) 必着
- 展示期間 11月6日(水)から12月9日(月)
- 入賞 最優秀賞(1名)、優秀賞(2名)

応募  
お待ちしております

詳しくは全戸配布のチラシをご覧ください  
美術館へお問い合わせください

問い合わせ先 伯耆町立植田正治写真美術館  
TEL:0859-39-8000

メール：bijyutsukan@houki-town.jp  
ホームページ：https://www.houki-town.jp/ueda/  
■開館時間/10:00～17:00 (最終入館は16:30)  
■休館日/火曜日 (祝日の場合は翌日)

町民の方は入館無料です。  
(ご来館の際は免許証など住所のわかるものを提示してください)

無料招待券  
— 本券を切り取ってご利用ください —

植田正治  
山陰の風土に生きて

2024年9月14日(土) - 12月9日(月)

※本券1枚ご持参で5名まで無料でご覧いただけます。  
休館日：毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

伯耆町立植田正治写真美術館  
伯耆町須村353-3 TEL:0859-39-8000